

< 機械・農作業の共同化を目標としている事例 >

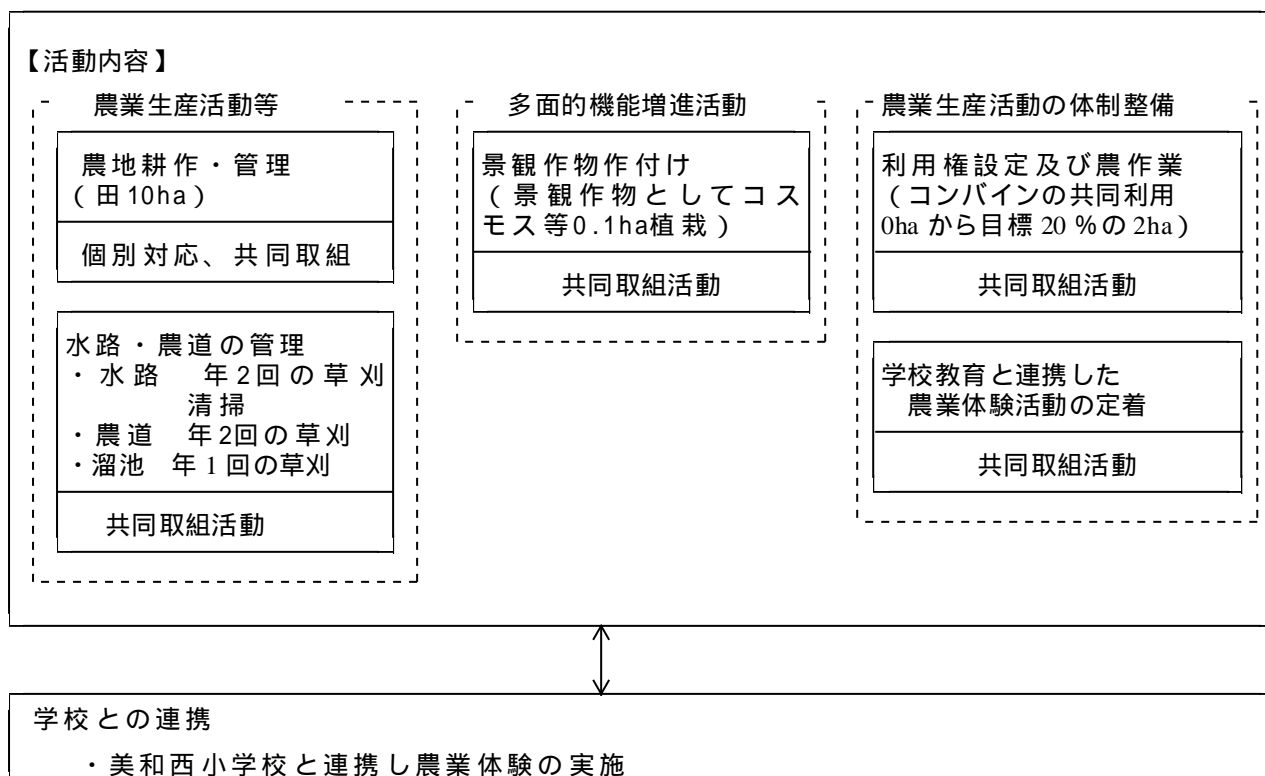
## 定年帰農者をよぶ機械・農作業の共同化、 学校教育との連携～

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県岩国市美和町・長野 <small>いわくにしみわちよう ながの</small>			
協定面積 10ha	田 (99%)	畑 (1%)	草地	採草放牧地
	水稲	水稲		
交付金 136万円	個人配分			23%
	共同取組活動 (77%)	役員報酬・研修費・パトロール		12%
		水路農道管理費・溜池管理		6%
		学校教育関連経費・景観作物管理費		6%
		共同機械購入費		49%
	事務・会議費他		4%	
協定参加者	農業者43名、水利組合1、非農業者(5)			





### 2. 集落マスタープランの概要

- ・現在、集落では前対策において購入したコンバインを活用した農作業の共同利用が進められている。今後は、定年帰農者等を活かした継続的な営農体制を整備し、農地の保全を図るとともに、集落内にある美和西小学校と連携して、田植え・稲刈りを中心とした体験農業を継続的に実施することにより、食文化学習の高揚を図る。
- ・5年間の具体的な目標  
購入した共同機械等を利用し、協定面積の20%以上で共同化を行う。  
美和西小学校と連携した農業体験の取組を定着させる。



### 3. 取組の経緯及び内容

- ・ 当地区は、平成 12 年度から中山間直接支払制度へ取り組んできており、水稲栽培中心の個別完結型がほとんどであったが、前期対策で購入したコンバインを活用した農作業の共同利用が進められていた。しかし、数年先には高齢化による耕作放棄地の発生が心配されていた。
- ・ 本期対策に取り組むに当たり、話し合いを行った結果、集落の生活環境や農地の保全を図ることが合意された。
- ・ 協定では、5 年間の具体的な取組として、農業への定年帰農者等の参加誘導、共同機械による農作業の共同利用の拡大、集落内にある統合小学校との連携を行うこととし、非農業者や児童、その保護者に農業の体験学習を実施することで、次世代に繋げる集落を目指している。

<p>農用地等保全マップ</p> 	<p>【マップの解説】 協同取組活動をスムーズに行うため以下の項目を記入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械の共同化の範囲 </li> <li>・ 学校との連携学習農地 </li> <li>・ ポンプ改修予定箇所 </li> </ul>
---	---



黄金刈った  
美和西小5年生 米作り

恐る恐るかまに挑戦

美和西小学校の体験学習の記事



管理する溜池と整備した共同機械

[平成21年度までの取組目標]

機械・農作業の共同利用面積を1作業（収穫）、協定参加農用地面積 20% を目標。  
学校教育との連携 市道・学校沿いの景観形成のため、花の植え付け。